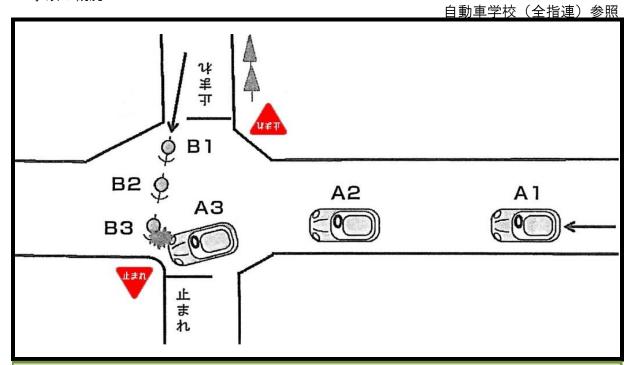
■事故の概況



事故類型:出会い頭衝突

発生日時:2月 午前8時台 晴

当事者A:普通乗用車 50歳代 女性 当事者B:自転車 中学生 女性

■ 事故の概要

Aは出勤でいつも通る片側1車線道路を時速約40kmで走行中、信号機のない見通しの悪い交差点を通過する際、交差点侵入前に右方から進入してきた自転車を発見しましたが、相手が停止すると思いそのままの速度で進行しました。

ところが、自転車は停止せず進行してきたため、急ブレーキと同時にハンドルを左にきりましたが間に合わず衝突しました。

Bは毎日通学で通る一時停止の交差点を、学校に遅れそうだったので急いで通過しようとして、交差点に進入する際に左方から普通乗用車が来るのを発見しましたが、自分の方が先に通過出来ると思い、一時停止せずそのまま進入したところ、道路を渡りきる前に普通乗用車と衝突しました。

■ 事故から学ぶ

Åはいつも通る場所で、見通しが悪い交差点だと知っていたのですから、あらかじめ速度を減速すべきでした。

また、交差点進入前に進行してくる自転車を認めていたのですから、少なくとも相手を発見した時点で「交差点に進入してくるかもしれない」と考えて、その動きに注意するとともに、あらかじめの減速やクラクションによる警告など、事前に事故を回避する措置をとるべきでした。Bが一時停止して左右の安全を確認すべきだったことは、言うまでもありません。